

2022年09月28日

課題名：心原性ショックにおける機械的補助循環使用下の吸入一酸化窒素の効果に関する  
前向き観察研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、心原性ショック(心疾患により全身の循環が保てない状態)で機械的補助循環(機械により全身の循環を補助する装置)を要する方に対して、一酸化窒素吸入療法の効果を調べています。本研究では、早期の補助循環離脱を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

倫理審査承認日から2024年6月までの間に、心原性ショックであると診断され、機械的補助循環を装着された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長、体重、現病歴、過去にかかれた疾病、合併症、原因となった疾病、補助循環の種類、補助循環の留置期間、腎代替療法の有無、呼吸器、使用した薬剤、血液検査、血圧、心拍出量、肺動脈圧、心エコー所見、患者の方の転帰(生存の有無)

◆研究方法◆

本研究は一酸化窒素を使用前後のデータをカルテから抜粋し、まとめて解析し、効果を検証します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
循環器内科 研究責任者 多田 毅

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)  
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明